

Oyama Plant Sustainability Report 2023



富士通は、1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、環境経営に取り組んでおります。



ごあいさつ

小山工場は、富士通の通信部門の基幹工場として、1959年に操業を開始。開設以来、地域の皆さまからのあたたかいご支援を賜り、発展して参りました。富士通グループの一員として、わたしたちのパーパス「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていく」の実現とともに、先進の通信ネットワークインフラの製造を通じて、安全便利な未来のコミュニケーションの創造に貢献致します。



工場長 市川 裕一

事業所紹介

所在地 : 栃木県小山市城東3-28-1
 開設 : 1959年(昭和39年)11月
 従業員数 : 約1,800名(グループ会社含む)
 敷地面積 : 149,300㎡



環境活動

安心・安全な工場への取り組み（防災）

環境活動

地球温暖化防止への取り組み

富士通グループでは、中長期環境ビジョン「Fujitsu Climate and Energy Vision」を策定し、富士通グループが果たすべき社会的役割を再検討し、「2050年度に富士通グループ自らが排出するCO₂をゼロエミッション」としてきたこれまでのビジョンを20年前倒して2030年度にゼロエミッション達成を目指すこととしました。持続可能な社会の実現に向け、ステークホルダーの皆様と連携し、率先して課題解決に取り組んでいます。

小山工場の取り組み

CO₂排出量の抑制について

・グリーン電力（※1）の使用

太陽光発電（蓄電設備）を設置し使用すること、年間電力量の一部をグリーン電力に置き換えることで、CO₂排出量を抑制しております。また、23年度のCO₂排出目標値 24,640 t-CO₂/年以下を掲げ活動しています。

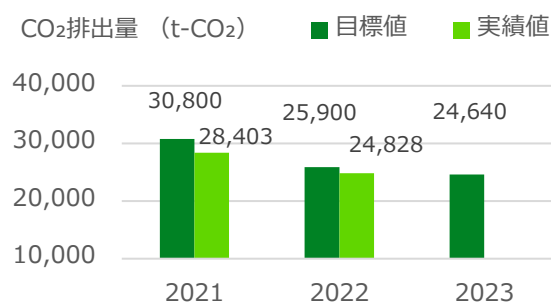
※1 グリーン電力とは、太陽光や風力、水力などから得られた電力

・廃棄物の抑制

プラスチックをはじめとした資源循環の3R（※2）に取り組む、社員ひとりひとりが廃棄物の分別徹底を推進しています。

※2 Reduce：使用量削減、Reuse：再利用促進

Recycle：再生資源利用促進



※電力のCO₂換算係数は0.57t-CO₂/Mwh(固定)を使用

安心・安全な工場への取り組み

防災訓練の実施

自然災害や人為的災害が発生した際に、被害を最小限に抑えるため防災訓練を実施しています。定期的に行うことで、災害発生時に迅速かつ適切な対応ができ、被害の軽減につながります。また、訓練を通じ入居部門との連携を強化します。



社会貢献活動

社会貢献活動

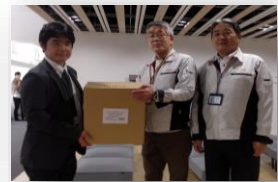
足尾の山 植林活動

近隣の富士通グループ合同により、足尾の山へ苗木を植える活動を実施しました。足尾銅山跡にたくさんの緑が蘇るよう、これからも継続して実施していきます。



防災備蓄品の寄付

災害時の備えとして、貯蔵している備蓄非常食を小山市役所環境課へ寄付いたしました。



ウィンターイルミネーション

正門と前庭に装飾したイルミネーションエリアを作り、近隣の方々や従業員家族に一般開放いたしました。地元に着したイベントになるよう、これからも継続して実施していきます。



渡良瀬遊水地ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦への参加

国内最大の遊水地で、絶滅危惧種を含む数多くの貴重な動植物が生息・生育し、生物多様性のシンボルでもある国の特別天然記念物・コウノトリが定着する「自然の宝庫」です。自然を維持すべく、これからも参加継続してまいります。



小山市ふるさと清掃運動会への参加

河川愛護活動の一環として小山市が主催するふるさと清掃運動会に参加しました。思川河川敷内の自然環境保全および美化のため、これからも参加継続してまいります。



安心・安全な工場への取り組み（環境）

環境基準の順守

大気汚染防止への取り組み

暖房、加湿用の蒸気ボイラーの24時間監視と適正整備を行っており、定期的に排ガス測定を行い、法定基準を遵守しております。

物質名	硫黄酸化物 (K値)	窒素酸化物	ばいじん
法定基準値	7.00	180 (ppm)	0.3 (g/Nm ³)
測定値	0.10	64 (ppm)	0.005 未満 (g/Nm ³)

工場廃水の浄化への取り組み

製造工程で発生した廃水は、浄化処理後ピオトープ（最終放流生物監視池）を経由して河川放流しています。廃水は定期的に分析を行い、法定基準を遵守していることを確認しています。

物質名	B.O.D (生物化学的 酸素要求量)	C.O.D (化学的 酸素要求量)	S.S (浮遊物質)	シアン	トリクロロ エチレン	フッ素	pH (水素イオン濃度)
法定基準値 (mg/L)	25	25	50	検出されないこと	0.1	8	5.8~8.6
測定値 (mg/L)	13.3	3.3	11.6	0.08 未満	0.01 未満	0.15	7.6

土壌・地下水対策への取り組み

富士通グループでは、「土壌・地下水の調査、対策、公開に関する規定」を定め、法改正や社会情勢に合わせて適宜見直しています。土壌・地下水は規定に基づき計画的に調査し、汚染が確認された場合は、浄化・対策を実施するとともに、行政と連携して情報を公開しています。揚水曝気等による浄化対策と併せて、地下水の汚染による敷地外への影響を監視するための観測井戸を設置し、監視を行っております。

物質名	クロロ エチレン	トリクロロ エチレン	1、2-ジクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	浄化状況
環境基準値(mg/L)	0.002	0.01	0.04	0.01	敷地外への汚染流出防止 揚水曝気による浄化を継続 中（地下水浄化設備で無害 化）
測定値 (mg/L)	1.6	0.58	3.8	不検出	

お問い合わせ先

富士通株式会社

小山工場 総務部
〒323-8511 栃木県小山市城東3-28-1
TEL : (0285)23-8200

発行責任者 市川 裕一
編集責任者 杉山 辰将、横山 康晴
発行年月日 2023年9月27日
記載事項対象期間 2022年4月~2023年3月